



神戸大学経済経営研究所

2019年、創立100周年を迎えます

ラテンアメリカ・セミナー

「ラテンアメリカにおけるグローバリゼーションと民主化の課題と現状」

(神戸大学経済経営研究所ラテンアメリカ政治経済研究部会、科研基盤研究 B「ラテンアメリカ発展停滞のパズル」、科研若手研究 B「ラテンアメリカにおけるバリューチェーン統合と生産性・分配に関する実証研究」共催)

セミナーの目的：

ラテンアメリカ地域は 1980 年代以降、民主化と市場経済化という 2 つの制度転換が世界で最も早く同時に起き、約 30 年を経た今日、その成果と限界・課題が様々な形で判明している。

政治分野においてはラテンアメリカ地域においては安定的に民主主義を維持する国がある一方で、民主主義の根本を揺るがす出来事も多発しており、民主主義の崩壊が懸念される国もあるなど、民主主義の定着は未だ課題であり続けている。

経済分野においては、世界金融危機や中国経済の減速以降、ラテンアメリカ地域の経済成長は再び成長停滞期を迎え、経済成長と貧困削減・所得分配平等化が同時に進んだ 2000 年代に達成した社会的成果も後退しつつある状況にある。

本セミナーではラテンアメリカの政治・経済両分野で第一線の専門家を招待し、特に政治面ではポピュリズムと民主主義の定着の問題、経済面ではグローバル・バリューチェーン統合と生産性・分配の問題に着目してラテンアメリカにおける民主主義の定着と持続的な経済成長に向けての現状と課題を理解することを目的とする。

プログラム

日時：2018年3月19日（月曜）

会場：神戸大学大学院国際協力研究科 大会議室（第5学舎1階）

言語：英語

セミナー対象：教員・院生および同等の知識をお持ちの方

9:50-10:00 開会の辞 浜口伸明（神戸大学経済経営研究所）

政治セッション 座長 浜口伸明（神戸大学経済経営研究所）

10:00-11:00 “Populism and Democratic Hybridization in Latin America:
Comparing Venezuela and Argentina”

Enrique Peruzzotti（トルクァト・ディ・テラ大学）

11:00-11:15 論評 菊池啓一（日本貿易振興機構アジア経済研究所）

11:15-11:30 論評 高橋百合子（早稲田大学政治経済学術院）

11:30-11:45 討論

11:55-12:40 “De-consolidating Democracy in Latin America”

高橋百合子（早稲田大学政治経済学術院）

12:40-12:55 論評 Enrique Peruzzotti（トルクァト・ディ・テラ大学）

12:55-13:10 討論

13:10-14:15 昼食（レストラン さくら）

経済セッション 座長 村上勇介（京都大学東南アジア地域研究研究所）

14:15-15:15 “Trade and Structural Change in Mexico”

Jorge Mario Martínez Piva（ECLAC メキシコ副本部）

15:15-15:30 論評 安原毅（南山大学国際教養学部）

15:30-15:45 論評 桑山幹夫（ラテンアメリカ協会/神戸大学経済経営研究所）

15:45-16:00 討論

16:10-16:55 “Globalization and Inequality in Latin America:

What We Know So Far and What We Should Study Further?”

村上善道（神戸大学経済経営研究所）

16:55-17:10 論評 Jorge Mario Martínez Piva（ECLAC メキシコ副本部）

17:10-17:25 討論

17:25-17:35 閉会の辞 浜口伸明（神戸大学経済経営研究所）